

2023.10.22. 聖書預言・アップデート

あなたはどちらの味方？

JD ファラグ牧師

主よ、あなたの御子イエス・キリストの救いの恵みに感謝します。ですから私たちは、天でまた共になれるのです。主よ、この時間を祝福下さい。この礼拝に感謝します。今朝「聖書預言・アップデート」と共に、御言葉にいて下さいますように。今朝、私たちの前にある事を理解するためあなたの助けが必要かもしれません。"かもしれない"というのは、"必要"という意味です。ですから主よ、助けて下さい。私たちがあなたを仰ぎ見ますように。イエスの御名によって。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も、大変嬉しいです。オンラインで私たちに参加され祝福されると信じます。

始める前に、進行中の「マウイ島ミッション支援」に関し、スティーブ・サントス牧師からのメールを共有したいと思います。

「多くのことが起こっているんだ。(控えめな表現ですね。) 火災、失ったもの、混乱、悲しみ、貪り。人の最良と最悪を見ている。モノがなくなるのを恐れため込む人もいる。自分や家族が住む場所への不安。他の島やマウイ島の反対側への移住も望まない。ラハイナはまだ彼らの家で、世界が通常へと進んでも火災以外の全てがまだ続いている。イスラエルのことは、もう完全にわかっているよ。JD、君と一緒にいた時、話した通り、「次は何？」と尋ねるのが怖い。そして、ガザの恐ろしいニュース報道。主イエスよ、来て下さい。そう、世界は違う物事へと移り変わり、ラハイナはまだ燃えている。ここにいる人々の心は、あの朝以来、残されたすべての事で、埋め尽くされていて、深い絶望で恐れ、僕たちはどうしたらいいのだろうか？ 改めて、イエスが唯一の答えだ。僕たちは、神の御言葉から答えを得る必要があるんだ。どうか、ラハイナのために、また僕のために、カルバリーチャペル・ウエストサイドへの神の導きため、祈るのを止めないでください。あの朝目覚め、完全な宣教の場となったマウイ島西側の全ての真の信者のために祈り続けて下さい。夜中に目が覚め、次にラハイナをどうしようかと考え、眠れなくなったという人がいるんだ。彼の仕事や物理的な町のことだけでなく、でも何千もの家庭や仕事が、(何百ではありませんよ。) 何千、何万もの家族、人々の生活が、いつ、どのように西側を再開するかにより左右され、ここに住居がある人々のニーズをどう満たすか、彼らの不動産を守ることや、彼らの不動産を整理することなど。(ちなみに、賃貸物件が桁外れになっています。月 2,000 ドルとか 2,500 ドルの家賃だったのが、今は月 3,800 ドルです。) すべてを失った人々の収入は、職場は燃やされんだから、どこで働くのか？ 子どもたち、学校はどうする？ 空気中の安全性。有害物質の有無、などなど.....

ある人が信者だとは思わないけど、純粋に気にかけてくれていると信じる。(この人について、スティーブが話してくれています。) 彼に何か意図があるようにはまったく感じなかった。彼の主要な任命者の一人は信者だ。(選挙で選ばれた役人です。) 彼は市長が初めて裁判官に任命されたとき、ソロモンの知恵とヨブの心が持てるよう市長のために祈ったんだ。僕は彼に、あの祈りは預言的だったと伝えたんだ。とはいえ、今、市長のためにこれまで以上に祈り、毎月祈りたいと思っている。彼はとてもオープンな様子だったから。(市長に会った後ですよ。) それについて考えていたんだ。今、市長の耳が僕たちに開かれ、神が僕たちを通して語っておられるなら、彼はラハイナへの主の御心を聞ける。次に DEW：指向性エネルギー兵器。僕はそうだと思う。でもね、この世に、そこまで邪悪な人間、男女がいるのだろうか？ そうだろうね！しかし、僕は御霊と御言葉ですべてを確認してもらう必要がある。そして、叫び、さらに叩

く。」スティーブのこの言い回しについて簡単な裏話をさせてください。この締めくくりの”さらに叩く”について。彼は私に、初めて会ったとき、そのことを話してくれました。スティーブを知るべきですよ。幾人かはあの木曜礼拝の夜彼と会いましたよね。彼は、私と正反対で、素晴らしい人物ですよ。でも彼は、何と言うか、彼は私のように説教壇を叩きません。彼は初めて、私にこう話してくれました。彼は長い間、こうしてきました。彼は説教壇を叩く！ 私は言いました。「ねえスティーブ、僕も毎週叩いてる。」

—(笑)—

皆さんの為に、その空白を埋めたかったの。スティーブとじっくり話し、このすべてについて一緒に祈った後、神は、神だけが御出来になる通り、超自然的な平安と超自然的な御力を与えて下さっています。人知を超えた平安の神からの神の平安です。ご存知のように、私たちは一緒に働いて動いています。私が話した通りですけど、現在カルバリーチャペル・ウエストサイドを通じて、人々に車を提供するため動いているのを知ってほしいのです。今、シングルマザーの女性に車を贈ろうと取り組んでいて、自閉症の子どもがいる家庭にはバンを、もう一人の兄弟には仕事用のトラックを提供しました。この人たちは全員、車を失いました。このことの後に、神の恵みで、全ての栄光は神に帰されます。同じように車を失い、本当に車が必要な4人家族に車を提供することができました。私たちは、神の恵みによって再びそれを成し遂げられました。最後に、マウイ・ミッション支援に加え、私たちがマウイ島の人々にしているのと同様、物資や基本的ニーズを提供しているイスラエルのミニストリーに関し、ある人物と連絡を取りました。そう私たちは、イスラエルのユダヤ人とアラブ人の両方のためにそうしたいのです。ですから、今から入る今日のアップデートと締めくくりの「しかし、神は。」の証でそのことをもう少し話したいと思います。では始めましょう。これは第一礼拝です。ようこそ。改めて始めます。(もう一度説教壇に入り直し) おはようございます。ようこそ。(オンラインでご覧の人も) 大変嬉しいです。日曜日の朝は、2つの礼拝があって、第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」を毎週長年してきています。第二礼拝は、「説教」で神の御言葉の節ごとの学びです先週「第一ヨハネの手紙」を学び終わりました。ですから今日は、次の書、そう、「第二ヨハネの手紙」です。第二は第一の後ですからね。(第二ヨハネの手紙1章) 最初の3節だけに取り組みます。わお～！ものです。見ていくのは、人間関係問題にどう対処するかだけでなく、人間関係の問題を具体的に、さらには実践的に解決する方法です。それを、オンラインの方、ハワイ時間11時15分からライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、ウェブサイトJDFarag.orgに直接行かれ、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧になるのを勧めます。これらのプラットフォームでの配信は、本編前だけだからです。それでは始めましょう。

先週、具体的にいわゆるパレスチナ人と呼ぶ人々についてのアップデートをする予定で作業しているので皆さんにお祈りを願いました。その延長線上で、ハマスによるイスラエル攻撃とイスラエルに関して、テロ集団ハマスの預言的意義。そう、これがそのアップデートです。ですから、祈って下さってありがとうございます。祈って下さいましたよね？ 私はこのタイトルを選びました。

「あなたはどちらの味方？」

私がこのタイトルを選んだ理由は、すぐにここで明らかになると願います。私は、ハマス率いるパレスチナ武装集団とイスラエルとの間の、戦争と呼ぶ事について、主に尋ね求めました。これは、ハマスがイスラエルの罪のない民間人や市民を攻撃し、虐殺した後のことです。このことが起こった時、起こった後、このことを見極め、祈りつつ慎重に対処しなければならないと決心しました。このことには色々な理由

があって、その最たるものは、、、どうか私の心を聞いて下さい。神の預言時計の秒針。(ご存知ない方のために) さっと空欄を埋める説明します。神の預言時計の時針はイスラエルで、分針はエルサレムで、秒針は神殿の丘です。ちなみに、これが全てです。今日のようなアップデートをする主な理由のひとつは、神の預言時計の秒針が、患難時代前携挙の時刻に差し掛かっているからです。「あ～また始まった。」ええ、また始めますよ。私たちはこれを知っています。なぜか？ 聖書預言がこれを告げているからです。聖書預言は、終末の時の地政学的展開により、イスラエルを中心に、イスラエルに関連することを教えています。事実、新約聖書原語のヘブル語で使う単語、いや、新約聖書原語のヘブル語だって、あら～大変な長い週でしたから。新約聖書原語はギリシャ語です。失礼。旧約聖書原語のヘブル語です！ やり直していいですか？ 旧約聖書原語のヘブル語で、イスラエルを表わすのに使われる単語は、直訳すれば「へそ」あるいは「下腹部」で、「中心」です。神にとって何よりも愛おしく、世の中心、世の下腹。ちょっと言い過ぎなら、もっと生理的用語を使って、「へそ」と呼ぶことにしましょう。まだ早すぎますか？ 分かりませんが、「へそ」が中心です。世の中心です。イスラエルは世の中心です。そうだ、前に言いましたけど、きつと、、、しばらく話してなかったので、これは多数おられる新来訪者のためです。ようこそ。来てくださって大変嬉しいです。実際きつと、戻って来られた方もおられ、戻ってこられてより素晴らしいです。あるときロシアにいたときのことを、長年、何度か話しましたね。私はモスクワの神学校で教えていました。集中講義の時、神学校の寮にいた学生たちが言ったのです。

「JD 牧師、ちょっと来てください。見せたいものがあるんです。」私は、「オーケー、何かな？」という感じで、ホールに連れて行かれて、地図の前に立って、地図を見るように言うのです。で、地図を見てみると、何かが違うのです。私は極めて知的な男ですから、ちょっと考えてみるというより、「へ？へ？これ何？」「この地図、何か違ったところや変なところはない？」私はこんな感じで、「いや。。。」生徒たちは言いました。「地図の中心は？アメリカじゃなくてロシアですよ。」いえ、考えてみて下さい。ロシアで彼らは、世界地図の中心をロシアに置いています。ロシアで誰が世界の中心か？ ロシアです。これで話の行く先があります。大変意味深です。神も地図をお持ちです。誰が中心でしょう？ 神の地図の中心は誰か？ イスラエルです。イスラエルです。だから私たちは知っているのです。イスラエルが中心だからです。終わりの時、世がどのようなになるかの、中心的焦点だからです。そしてどうです？ 今終わりの時です。イスラエルを見ると、「わお～これは聖書に書かれている通りのよう。終わりの時に見える。」今、イスラエルで、今、イスラエルに起こっている全てが。だから私たちには分かるのです。もうひとつ、えっと、今日は、このアップデート興味深い日になりそうですね。でもさっと言います。

今朝、教会の牧師ミーティングがあって、話したのが、患難時代前携挙の健全な教理から人々が離れていく理由は、今の世の中がすでに患難時代入っているように見えるからだ。なぜ世はすでに患難時代に入っているように見えるのか？ 患難時代が大変迫っているからです。ほぼドン引きして、後退してしまっ、この事態を見てこうなります。

「わお～、もう患難時代にいるみたい。」それで、患難前携挙の健全な教理から離れてしまう。もう患難時代にいるなら、患難前携挙は起こってないから、まあ、おめでとう！ あなたがしたことは、神の御言葉を、世の中の出来事に置き換えた。あなたは神の御言葉を、世の中の出来事というレンズを通して解釈していて、その逆ではない。あなたは神の預言の御言葉のレンズを通して世の出来事を解釈していない。気分が良くなると思ったのになりません。それで納得しますか？ 私は、、、多分、私はこの件で主のもとに戻る必要があるでしょう。何人かは仰いますね。「ええ、主のもとへ行って下さい。」でもこれがポイン

トですよ。牧師たちが、御言葉の教師たちが、今説明したことを名目に、患難時代前携挙の健全な教理を放棄したのです。それしか思いつきません。それを説明する、言い訳するのではなく、説明するため、思いつく最も近いものは、私のたわ言はもう終わりますからね。その希望はあります。これはパウロがテモテに書いた終わりの時についての手紙です。

終わりの時、人々は健全な教えに耐えられなくなる。(II テモテ 4:3)

彼らは健全な教理を受け入れない。それが特徴、終わりの時のサインとなる。だから、ある意味、驚くべきではないと思います。ポイントは何か？ 私のポイントはこうです。因みにメモには書いてありませんよ。それ自体が問題ですけど、ポイントは、人々が、すでに 7 年の患難時代に入っていると思うのなら、私たちは 7 年の患難時代にどれだけ近づいていますか？ 私たちが 7 年の患難時代に近づいている事に納得しませんか？ それが、すでに 7 年の患難時代にいると人々が考える理由の説明で、それほど 7 年の患難時代に近づいているのは、もう携挙はいつでも、は！（と見上げる）起こり得るという事です。よし、これで少し気分が良くなりました。

既に進行中の、「聖書預言・アップデート」を進めましょう。ですから、中心がイスラエルで、世の中心「へそ」がイスラエルです。

先週のアップデート、タイトル：「なぜイスラエル？なぜ今？」で詳しく取り上げましたね。シンプルに言わせてください。今、全てが起こっているからです。それが理由です。しかしながら、私たちは深刻な問題を抱えています。おお、また別の問題ですか。私だけの問題ではありません。私はそれをあなたの問題にするつもりだからです。それが私の賜物です。その問題とは？ ええ、解決すべき問題で、「どちらかを選ぶ」という問題です。それは、敵の術中にはまってしまい、敵はこれ以上嬉しいことはないでしょう。ですから、このアップデートのタイトルに「あなたはどちらの味方？」と選びました。あなたがどちらかを選ぶから、、、以前のアップデートで話しましたが、どちらか一方を選ぶ事は、典型的な「分裂と征服」の戦術です。改めて言います。どちらか一方を選ぶ事は、典型的な「分裂と征服」の戦術です。

イエスは仰いました。「もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。」(マルコ 3:25)

「団結するなら立ち、分断すれば倒れる。」これを聞いたことありますか？ 敵はそれを知っていて、盗み、殺し、滅ぼせるなら、その切り札を使うと思いませんか？ 敵はどうやって滅ぼすのか？「分裂と征服」で。「分裂させる」それが滅ぼして支配する方法です。家が分裂したら、その家は立ち行かないなら、では敵は何をするのか？「家を分裂させる」そうすれば倒れる。これは本当にあらゆる分野で言えることで、これは、決して破ってはならない人生の原則のひとつで、それに逆らうと滅びます。例外なく。典型的な「分裂と征服」の戦術です。あなたがどちらかを選ぶや否や、おしまいです。あなたはすでに負けです。あなたはすでに負け。OK。これが話の向かう先で、ちょっと落ち着きたいと思います。私は聖書に戻りました。何と斬新なアイデアでしょう。感謝なことに、この問題を聖書的に正しく解決する方法を思い出させてくれる重要箇所の確認をしました。

解決：何を解決しようとしているのか？ この「どちらを選ぶ？」の問題を、この「分裂と征服」の問題を解決します。このお決まりの一節、最も魅力的な記述は、「ヨシュア記」に記されています。この非常に複雑なジレンマに対する解決策を提供してくれます。ええ、複雑です。とても複雑なことを単純化しすぎていないことを願います。「ヨシュア記 5 章」13 節から読みますのでその箇所を開いてください。

「ヨシュア記 5 章」13 節から読みますのでその箇所を開いてください。

ヨシュアがエリコにいたとき、... (彼らはエリコに接近し、エリコ征服への準備中です。) ...目を上げて見ると、一人の人が抜き身の剣を手を持って彼の前方に立っていた。ヨシュアは彼のところへ歩み寄って言った。「あなたは私たちの味方ですか、それとも敵ですか。」

訳すと、「あなたはどちらの側ですか？」答えは、14節です。

—ヨシュア 5:14—

彼は言った。「いや、...

(待って下さい。はい か いいえ の質問じゃありません。多肢選択式ですけど、二者択一です。あなたは彼らの味方か、我々の味方か、どちらの側ですか?) 彼は言った。「いや、しかし、」皆さん注目してください。皆さんの翻訳では大文字だからです。

...わたしは”主”の 軍の”将”として、今、来たのだ。」

「あなたは誰なのですか？」お、これはイエスです。何だって？ そうこれが聖書で、私たちがキリスト・イエスがマリアに処女降誕される初臨前の「ベツレヘム前のキリストの顕現」と呼びます。おお、因みにイエスは、「創世記1章1節」にもおられます。イエスは創世記におられます。

「人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。」(創世記 1:26)

それが三位一体です。「人をわたしのかたちとして、わたしの似姿に造ろう。」ではありません。単数ではありません。「われわれの」です。地の基が据えられる前です。イエスはそこにおられました。

「わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。」(黙示録 22:13)

因みにイエスは、聖書の全て、全書の全章におられます。イエスはそこにおられます。そういう事例がここです。どうやって、イエスだと分かるのか？ 次にヨシュアがする事が故に。ヨシュアは次に何をするのか？

...ヨシュアは顔を地に付けて伏し拝み、彼に言った。「わが主は、何をこのしもべに告げられるのですか。」

これはイエスです。御使いではありません。御使いを拜んでひれ伏そうとする者がいるたび御使いは言います。「それをしてはいけません。」御使いは、礼拝されることを受け入れません。

なぜなら、神だけが私たちのすべての礼拝に値するからです。(黙示録 19:10/22:9 参照)

ですから、これで分かります。これがイエスでなく、主の御使いで、主ご自身ではなかったら、御使いは言います。「立ちなさい。何をしていますのですか？私はただの御使いです。」でもイエスなら、そう仰いません。15節、

—ヨシュア 5:15—

主の軍の将はヨシュアに言った。... (イエスはヨシュアに言った) ...「あなたの足の履き物を脱げ。あなたの立っている所は聖なる場所である。」そこで、ヨシュアはそのようにした。

「OK、牧師さん。あなたは、質問していることに答えていません。」あなたが質問していないことに誰かが答えるのって嫌じゃないですか？ 自分が質問したことに答えない方がもっと悪いと思いますけど。私はきつともっと睡眠が必要です。私は、間違った質問をしているヨシュアへの神の御言葉と主の御言葉に照らして質問に答えています。「あなたはどちらの味方ですか？」とは、正解がひとつしかない間違った質問です。答えは、、聞く準備はいいですか？言いますよ。

「わたしは誰の味方なのか？ あるいは、神は誰の味方なのか？」すらでない。むしろ、「私たちが神の側なのか？」である。「あなたは神の側ですか？」それが答えです。「あなたはどちらの味方？」いいえ！質問が間違っています。いえ、答えは間違っていますが、でも質問が間違っています。まずは正しく質問

しましょう。あなたの間違った質問に対して、正しい答えは一つしかありません。「あなたはどちらの味方？」ではなく、「あなたは神の側にいますか？」神の御言葉に従って、神の御心に従って。神の御心とは？「第二ペテロの手紙3章9節」、

—II ペテロ 3:9—

主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、...

(これは主の来臨の文脈です) 翻訳によっては、「遅延」その理由は、

...あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

誰も滅びることなく、すべての人が悔い改めに至ることが神の御心です。私をどうか、普遍主義だと非難しないでください。ああ、その話はしませんよ。その方向へは行きませんので。そんな価値はない事ですから。地獄は、人間のために造られたものではありません。地獄は、悪魔と悪霊のために造られました。神は、、、ある人が仰ったことが大好きです。「神は誰も地獄に送ったりはされない。十字架につけられ、死なれ、復活したイエスの御体を越えて、自分で行くことになるのです。」それが神の御心です。それが神の御心に従うことです。すべての人が悔い改めに進むこと。すべての人です。すべてのユダヤ人、すべてのアラブ人、すべての地元民、すべての白人も。先週は逃げ切りしましたが、今週はちょっと押ししてみようと思いました。ハワイアン、日本人、中国人、台湾人。～人。ポルトガル人。ポルトガル人もですよ。さあ私は問題になりますね。私、丁寧にいいましたよね。失礼ながら、地元のピジン語の言い方は使いませんでしたよ。OK。

「本題に入れますか？」はい。「目の前の問題に取り掛かろう。」はい、そうします。目の前の問題とは？目の前の問題とは、土地の区別を含めたがっている事。それが目の前の問題で、そして、土地の所有権を主張する人々。それが目の前の問題です。本当は区別が必要です。言わば望めば、区別が必要です。人々と土地の間に。それが私たちが、取り組もうとしていることで、私たちが取り組まねばならないことです。私がこれらすべてを説明することで成し遂げたいのは、いわゆるパレスチナ人のエルサレムに対する主張が非合法であると証明することです。実際、パレスチナ人の主張が違法である主な理由のひとつは、パレスチナ人が存在しないことです。パレスチナ人なんて存在しません。これまで読んだ、パレスチナ人に関する本の中で最高の本は、ラモン・ベネット著、タイトル：『ペリシテ人という大いなる欺瞞』皆さん理解してほしいのは、あなたの牧師として、あなたの牧師であるのは特権です。私はパレスチナ人だと言われ、教えられて育ちました。父はエジプト人、母はパレスチナ人。それから19歳で救われて、初めて神の御言葉を「創世記」から「黙示録」まで6か月かかって読んだ時、私は、非常に深刻な答えを必要とする、非常に重要な質問をし始めました。「パレスチナ人が旧約聖書のペリシテ人と同じとは思えない。」そして、何年も前にこの本に出会いました。私の人生を変えました。正直言って、、、私はこの本を薦めます。随分前のことですが、まだアマゾンで買えると思います。読んで楽しい本ではありません。読むことに耐える本です。その場から立ち去らなければならないことが何度かありました。読むことが非常に辛い本で、そうこれは、これが私のルーツだったと知りながら読むのは。「私は誰なの？私には分からない。パレスチナ人と思っていたのに。私はそうじゃないんだ。じゃあ、今の私は何？分からない。」とにかく、そういうことです。しかし、この彼の素晴らしい作品から皆さんに共有し、いくつか引用したいと思います。

—引用—

「西暦 130 年、ローマ人はエルサレムをアエリア・カピトリーナと改名した。アエリア・ハドリアヌス帝とジュピター神カピトリヌスにちなんでだ。ローマ人は、エルサレムをアエリア・カピトリーナと改名し、約束の地をシリア・パレスチナと改名した。土地の改名は、ユダヤ人とのつながりを根絶するためのあからさまな企てだった。」

そうすることで、イスラエルの名は永遠に思い出されないように。彼らが名前を改名しました。

「紀元 7 世紀、イスラム教徒がパレスチナを征服後アエリア・カピトリーナという名前は、次第に使われなくなっていった。やがて、フィリシティアをラテン語式に呼んだパレスティナ、古代ペリシテの土地は、Palestine (パレスチナ) に英語化された。それがパレスチナという名前の由来だ。」

真実の爆弾です。ダジャレですが。「パレスチナ人がいるからパレスチナと名付けられたのではない。パレスチナとは、ローマ帝国から命名された名だ。古代のペリシテ人は、現代のいわゆるパレスチナ人と同義ではない。」

どうしてわかるのか？ 聖書が私にそう教えているからです。このことを私は知っています。

♪ イエスは私を愛している。このことを私は知っている。♪ 私の聖書がそうも語るからです。聖書は私たちのために記録しています。実際、『第二サムエル記 5 章』から始めれば良いのです。実は、その前と後のことです。ペリシテ人は、あのダビデ王の統治下で滅ぼされ、排除されました。「第二サムエル記 5 章」それが聖書的証拠ですが、考古学的証拠もあります。パレスチナの硬貨が一切ないのも目立ちます。さらに言うなら、パレスチナの言語はありません。では、いわゆるパレスチナ人は何語を話すのか？ アラビア語です。彼らはアラブ人だから。アラブ人はアラビア語を話します。彼らはアラブ人です。約 25 年前、(主だけが御出来になられます。) 私は本土の私の教会にいたユダヤ人の、キリストにあっての兄弟と仲良くなりました。25 年前です。彼はそれを少し貸してくれたのが、彼は素晴らしいコレクションを持っていて、40 年代、1940 年代に遡るライフマガジンのコレクションを持っていました。15 セントで買ったでしょう。そういうことです。それで彼に尋ねました。「ねえ、これ借りてもいい？ スキャンしてもいい？」そして、関連する主な記事を丹念にスキャンしました。非常に興味深く、魅力ある内容でした。これらの記事は、イスラエル国家再建前、それに連動するものでした。因みに 1 日で再建しました。

神の御言葉通りに。「**国は一瞬にして生まれるだろうか。**」(イザヤ 66:8)

イスラエルは生まれました。1 日とは？ 1948 年 5 月 14 日です。(イスラエル建国)

これらの記事から引用することをお許してください。いわゆるパレスチナ人は、パレスチナ人ではなく、アラブ人だと証明するこの文書を使って、できるだけ早く、できるだけ簡潔に説明します。この最初の記事は「パレスチナ」と題され、イスラエルが国家として再建する僅か 2 年前、1946 年 8 月 19 日に発表されました。

ー引用ー

「ユダヤ人国家とは何か？ アラブ人はこの運動を、”国際的資金援助を受け、人為的に刺激し、究極的成功も永続的成功も望めないエキゾチックな運動”とみなしている。」

(あなたはイザヤ書とエゼキエル書を読むべきでしょう。) 1943 年 5 月 31 日付ライフ誌の、サウジアラビアのイブン・サウード国王の発言を引用するので聞いてほしいと思います。10 セントでした。ごめんなさい。5 年経って、5 セント上がってます。いずれにせよ、イスラエルが国家として再建する 5 年前です。サウジアラビアのイブン・サウード国王の発言を引用します。

ー引用ー

「パレスチナにおけるユダヤ人の主張を正当化するものは何も知らない。私はユダヤ人を恐れているわけではないし、アラブ人の土地でも他の場所でも、ユダヤ人が国家や権力を持つ可能性を恐れているわけでもない。これは、神がその聖典（コーラン）で預言者の口を通して、私たちに啓示されたことに従っている。」コーラン。その預言者は、偽預言者ムハンマド。偽宗教イスラム教。因みにお知らせしますが、皆さんご存知であるのを願いますが、ご存知ないなら、知った方が良いですよ。エルサレムの名は、コーランにたった一度も出てきません。一度も。聖書には、800回以上だと思います。私は気をつけなといけませんね。お気づきですか？私は学んでいます。正しい数字を言わないと、正しくないから、後で憤慨されるんです。それで、一般的なことを言っています。800回強です。エルサレム、エルサレム、エルサレム。コーランには何度あるのか？ゼロです。おお、彼らは試みようとして、コーランのアラビア語訳版、コーランの一節に、「遠くに聖地が見える」とあります。ええ、残念。エルサレムではありません。イスラム教の聖地は、サウジアラビアのメッカとメディナです。OK。

次は、また別の記事です。このタイトルは：『パレスチナ問題』それが問題です。1948年2月16日に出版されました。

ー引用ー

「国連はこの土地を3つに分割することを決定した。（聞いて下さい）ユダヤ国家とアラブ国家、そして国際化されたエルサレムに。国連は、決定事項の背後にいるが、あまりにも離れすぎて、アラブ人とユダヤ人の血が流されるオリーブ山からは、その青い旗（イスラエル国旗）はほとんど見えない。修正するいかなる動きも、もちろん国連の威信に深刻な打撃を与えるだろう。”力の前では譲歩する”さらに、おそらく戦闘は激化するだろう。（これが1948年であることを留意ください。）そうすればスターリンは、狂信的な元グランド・ムフティーの側に回り、アラブ世界全体をかき乱そうとするだろう。これは、アメリカ、国連、そしてアラブの地にいる80万人のユダヤ人にとって悲惨なことになるかもしれない。」

ここで何か気づきましたか？パレスチナ人についての言及はありましたか？いいえ、ありません。パレスチナは、前述の理由で、その名前に変更されたからです。でも、そう、パレスチナ人ではなく、アラブ人なのです。なぜアラブ人なのか？叫んでいますね。ごめんなさい。賜物です。私の国の習慣です。私たちは話す時叫びます。あなたを愛していますが叫びます。大変情熱的な人々なのです。ー警報音ー今のは、追加料金なしです。では、なぜパレスチナ人とは言わず、アラブ人と言うのか？彼らはアラブ人で、パレスチナ人ではないからです。私たち大丈夫ですか？記事の中に、パレスチナ人についての記述がないのは、その土地にパレスチナ人がいなかったからで、その土地にはアラブ人がいたからです。またこの土地には、それほど多くのアラブ人はいませんでした。アラブ人がほとんどいなかったというのはよく知られた事実で、実際、土地にはアラブ人でもユダヤ人でも、人がほとんどいませんでした。ユダヤ人は、決してアラブ人を土地から強制的に追い出したわけではありません。アラブ人はそれ以来、ユダヤ人を自分たちの土地から追い出そうとしています。ちなみに、土地の問題ではありません。だからこそ、土地と人を区別することが重要なのです。地図について話しているからです。別の地図の図解。最近、中東の地図を見ましたか？是非見て下さい。「中東の地図」で検索。そして縮小してください。アラブの土地すべてが分かります。アラブの土地は、こんな風に巨大です。そして拡大すると、イスラエルは、こんなちっちゃい。「どこ？お、拡大して。もっと拡大して。もっともっと。あった。これがイスラエルだ。」おお、アラブ人はもっと土地が必要ですか？OK。再度、この記事を書いたベネットから、

ー引用ー

「アラブ人は、ユダヤ人が何百万人ものパレスチナ・アラブ人を、彼らが何千年も耕してきた土地から強制的に追い出したと主張している。」

いいえ、していません。パレスチナ・アラブ人。その区別がわかりますか？ 1948年以前に、パレスチナに住んでいたユダヤ人はパレスチナ人と呼ばれたからです。本当に本気になって、それを証明したいなら、こう言うでしょう。

「私はパレスチナ系アラブ人です。私はパレスチナ系ユダヤ人です。でもあなたはまだパレスチナ人です。」あなたはパレスチナ人と見なされます。なぜか？ あなたはペリシテ人だからではなく、土地の名前がパレスチナだからです。それが理由です。

ー引用継続ー

「近代以前に、何百万人ものアラブ人がパレスチナに住んでいなかったことは知っている。アラブ人が何千年も前からいたわけではないこともわかっている。ユダヤ人だけがこの地に存在し続けた。何千年もの間、アラブ人によって形成されたところか、荒地だった。古今東西の著名な作家や聖地巡礼者は、何もない不毛の荒野について多くの証言を残していて、歴史家でさえも、同じ所見を報告している。」ベネットはさらに、こうした歴史家たちのことを記録しています。「多作なアメリカ人作家マーク・トウェインは、1867年にパレスチナを旅行した。」

私が大好きなのは、、、これは賜物ですけど、マーク・トウェインが、1867年に見たものを、詩的な表現でこう書いています。

ー引用ー

「ガリラヤに來なさい。人間のいない砂漠だ。錆びついた不毛の山は、過酷な輪郭から眩しさを振り払うことはない。あの哀愁漂うカペナウムの廢墟。我々は、無事にタボールに到着した…。全行程で人間を一人も見なかった。」待って下さい。何百万人ものアラブ人がこの地で農業を営んでいると思っていました。いいえ、一人も見なかった。

ー引用継続ー

「ベツレヘムとベタニア。貧しさと屈辱の中で今は何もない……。羊飼いたちが夜中に群れを見守った神聖な場所。御使いたちが、“地上の平和、人々への善意”を歌った場所。生物は一匹も住んでいない。ベツサイダとコラジンは地上から消え去り、その周辺の『砂漠の地』も…。獲物を狙う鳥とこそこそ動くキツネだけが生息し孤独の静寂の中で眠る。エズレルの谷には、もう心を揺さぶるような光景はない。メギドの丘は、(メギド、ハルマゲドンの谷/黙示録) その全域にわたって 30 マイルどちらの方向にもひとつも村はない。パレスチナは黒衣と灰にまみれ、荒地果て、魅力もない。それは夢の国だ。」

カール・ヘルマン・ヴォスという人物を引用します。『こんにちのパレスチナ問題』副題：イスラエルとその隣人。ベネットが引用します。

ー引用ー

「7世紀のアラブ人による征服から1880年代のユダヤ人の帰還が始まるまでの12世紀半の間に、パレスチナは荒地果てた。古代の運河と灌漑システムは破壊され、聖書が語る驚異的な豊穡は、砂漠と荒地の中に消え去った。」

因みに、木曜日の夜、「エゼキエル書29章」を学び終わりました。エゼキエル書を学び進めていますけど、29章の次は30章で、それから31章、32章、33章、34章、35章、36章と続き、おや、数えられますね。感動的！ 37章、エゼキエル書38章、荒地果てたこの地を、神は預言者エゼキエルを通

して仰います。「わたしはこの地を肥沃にし、命を吹き込み、死んだ骨に命を吹き込む。わたしは彼らを生き返らせ、この地に連れ戻す。この地は実り豊かで繁栄する。わたしにしかできないことをする。」

(エゼキエル 37章参照)

ええ、もしかしたら、それは来週のアップデートになるかもしれません。期待しておいてください。ガナー・エドワード・ウェップという人物は、パレスチナ調査基金の会報に次のように書いています。皆さんにこれを聞いてほしいのです。

ー引用ー

「古い城壁が少し残っているだけで、そこには何もない。(エルサレムのことをです。) 残りの部分はすべて草と苔と雑草で、まるで湿った地面のようだ。」

ベネットは、フランスの詩人の言葉を引用し、次のように書いています。

ー引用ー

「エルサレムの門の外には、確かに生きているものは何もなかった。生きているものの音は聞こえなかった。ポンペイの埋葬された門の前で見つけたものと同じ空虚、同じ静寂を見つけた。街は、完全な永遠の静寂が支配している。」「OK。JD 牧師、こんな細かいことでなぜ私たちを煩わせるのですか？」私たちがこんにち目にしていることは、預言的に全て一周して元に戻るからです。よろしければ、このパレスチナの欺瞞は、2023 年の今年、完全に効力を発揮するのを説明します。そうすることで、主要な、そう、主要な聖書預言が成就し始めています。これらの聖書預言、主要な聖書預言は全て、イスラエル、より具体的にはエルサレム、さらに具体的には神殿の丘を指します。あ、またしても先走っていますね。その土地特有の人々の話に戻しましょう。覚えておいて下さい。私たちはそれを区別し線引きしています。記録のため、言及します。強調して言います。あの土地はユダヤ人のものです。なぜか？ 神はユダヤ人を見捨てられないからです。そして、問題の真実は、私たちは、神がユダヤ人を見捨てることを望んでいません。神はユダヤ人と誓約がえられるからです。同時に神は、私やあなたとも誓約しておられます。神がユダヤ人を見捨てられるなら、尋ねますけど、あなたはどれだけ安心していられますか？ 私がそんな方法で言う理由は、それが聖書的、預言的にこの土地紛争を解決するものだからです。パレスチナ人など存在しません。パレスチナ国家など存在しません。二国家解決は、地獄の穴から生じたヒトラーの最終的解決の包み直しです。サタン自身から生じています。彼らは、イスラエルとの共存、イスラエルとの和平を望んでいるのではなく、イスラエルの破滅を望んでいるからです。これは、ムハンマドとその後のサラディンに始まるイスラム教の戦術です。「敵と和平を結び、そして敵を滅ぼす。」まさに彼らが今していることです。ヤーセル・アラファト。彼がアメリカに来た際、「イスラエルとの和平を望む！」そして、彼はラマツラに戻り、アラビア語で言いました。「イスラエルとの和平は、我々にとってイスラエルの破滅だ！ アメリカに死を。イスラエルに死を。」強調訛りを入れました。あまりうまくなかったですけど、たぶんそれが良いでしょう。そう、彼らは知っていました。因みに補足しますと、ヤーセル・アラファトは、エジプト人です。私の父と同じで、ヤーセル・アラファトは、エジプト生まれのエジプト人です。パレスチナ解放機構のトップ、パレスチナ人の指導者ヤーセル・アラファトは、エジプト人ですよ。何を話しているのですか？ だから私たちは叫ぶのです。OK。笑ってくれてありがとう。皆さん、優しすぎます。

ですから、土地と人々の間に境界線を引くことは必要ですが、人々と人々の間に境界線を引くべきではありません。説明します。ユダヤ人であろうとアラブ人であろうと、異邦人であろうと、、異邦人とは何

か？ 非ユダヤ人です。皆さん、ユダヤ人か異邦人かのどちらかです。それは重要ですか？ 区別する必要はありません。イエスが故に、ユダヤ人もアラブ人も区別はありません。イエスは道であり、真理であり、命で、御父への唯一の道です。「ヨハネの福音書 1 4 章 6 節」でイエスは仰いました。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも、（ユダヤ人でもアラブ人でも、ポルトガル人でも）父のみもとに行くことはできません。」

パウロが書いた「ガラテヤ人への手紙 3 章」26 節から 28 節までの言葉を聞いて下さい。

—ガラテヤ 3：26—

あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。

—ガラテヤ 3：27—

キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、キリストを着たのです。

—ガラテヤ 3：28—

ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです。

だからこそ、私が学んでいるのは、これは簡単なことではありません。これは私自身、そして私たち全員に染み付いているものだからです。私は、アメリカ人クリスチャン。私は、ユダヤ人クリスチャン。私はメシアニック信者。私は、アラブ人クリスチャン。ポルトガル人をいじりすぎですか？、私は、ポルトガル人クリスチャン。分かります？ それって、神はあなたを見て仰います。「あなたの国籍には気づかなかった。あなたの民族性は気づかなかった。」民族ではなく、人類だからです。私たちは皆、人類です。ところで、まだ、“あれの同類”であるあなた方... うわ、どういう意味ですか？”あれの同類”とは？まあ、自分がどういう者か知っていますね。これを言うとき、誰とも目を合わせません。でもあなたはまだその考えを持っている。それがあなたという人間の一部分で、あなたは、そういう風に育てられた。

それが口からこぼれ出ます。「心に満ちていることを口が話すのです。」(マタイ 12:34)

だからよく、国籍の問題になる。非常に狡猾です。でもそれが口から出る。十分に注意してください。

「黙示録」を読んで、私たちのために描写されている天国の情景を想像してください。聖霊の靈感を受けたヨハネができる限り、簡単ではない話を語っています。私たちは有限で、彼は神の無限の栄光について語ります。私たちは皆、御座の前で礼拝します。「ふさわしい、ふさわしい、ふさわしい方。」

私たちはこう語られています。

「すべての部族の人々、すべての言語の人々、あらゆる民族の人々。」(黙示録 7:9)

すべての国民。それが問題ですか？ そう、私たちは一線を引いてきています。私たちはどちらかを選んでいるから。彼ら 対 私たち。きつと言わない方がいいでしょうね。(天を見上げ) 念のため確認します。自分に正直になれば、私たちは人に対して、どちらかの味方を選んでしまうものだと告白せざるを得ないと思います。でもそれは人々への神の御心に敵対します。神は、ユダヤ人もアラブ人もギリシャ人もハワイ人も日本人も中国人も愛しておられるからです。これが、人々の論争に対する答えです。私たちは土地問題を解決しました。あの土地はユダヤ人のものです。聖書の中に、不動産の権利証があります。歴史的、考古学的、地理学的、地質学的な他に何かありましたっけ？ 証拠があります。しかし今、私たちは人々の問題に直面しています。なぜなら、OK、土地の争いを解決しましょう。しかし、人々はどうなるの？ おお、それはある意味もっと解決しやすいです。人々の争いをどう解決するのか？ 神の御心は、どんなユダヤ人もアラブ人も滅びることはなく、すべてのユダヤ人とアラブ人が悔い改め、イエス・

キリストの救いに辿り着くことです。何が悲しいかと言うと、繰り返すのをお許しください。クリスチャンはほとんどの場合、未だにこの問題でどちらかの味方を選んで人々は論争しています。再度言いますが、これは典型的な「分裂と征服」の戦術です。もう一步踏み込んで言います。それは神の御心を傷つけ、悲しませます。あなたが線引きを始め、あの人たちをあっちに置き、自分はこっちの人たち側だとする。さあ、私が何を言っているか分かるでしょ。水曜日に届いたメールを紹介します。私がそうするのは、国民的な争いの中でどちらかの側を選ぶことがいかに深刻かを物語っているからです。事実、これから紹介するメールは、私がスタッフから受け取るメールのいくつかに比べれば、大したことはありません。私たちは毎日、何百通ものメールを受け取ります。そのメールから抜粋します。再度、これをする理由は、彼女がこの事態がどれほど深刻なのかを理解できるようにするためです。

「以前にも 2 度メールを送ったけれど、返事はなかった。せっかく時間をとったのに、ちょっとがっかりだ。イスラエルとハマスに関する JD の直近のメッセージに、私は意気消沈している。私はコロナ以来、JD をフォローしていて、毎週日曜日の彼のメッセージを楽しみにしている。彼の直近のメッセージで、彼をフォローすることに引け目を感じる。ハマスのテロリストを動物呼ばわりしたことに JD は、誰を叱っているのか不思議だ。JD が殺人を容認する側に立つとは驚きだ。それは、ある特定のグループの人々によって行われているからにほかならない。驚きだ。」

おお、繰り返しますが、これはまだ手ぬるいです。おお、皆さんにメールを転送できればいいのに。あなたの受信トレイに私から何か届いたら、その理由がわかるでしょう。

おお、私がトランプの「世紀の取引/和平協定」：エルサレム分割について真実を語ったとき、あなたは私が反キリストだと思ったでしょう。「いいや！それは分割ではない！！」しかし、私はその契約書を一字一句そのまま読み上げました。私はそれを記録しました。あれはエルサレム分割です。すると、「おお、JD は左派なんだ！彼は民主党に違いない。」「やっぱりね。JD はバイデンに投票したんだ。」

何です？ 何ですか？ というわけで、もうひとつの真実の爆弾があります。ハマスのテロリスト・動物と呼ばれる人たち、今も救われているし、これからも救われます。お知らせしておきます。ニネベを救ったことで神に腹を立てたヨナのようになるのは大間違いです。ニネベですよ。彼はニネベの人々を救った神に腹を立てる。ヨナに対して厳しくなりすぎないように。私たちは鏡を見て、自問自答するのがよいでしょう。もし神がハマスのテロリスト動物と呼ばれる人たちを救ったら、私たちは怒るのでしょうか？ 知っていますか？ 当時のニネベは、旧約聖書の学びを一緒にした方、あれは大変生々しかったです。彼らがイスラエルの民にすることは、とても恐ろしく、考えられないことでしょう。それに匹敵します。事実、私はハマスがこんにち、イスラエルに対して行っていることよりも、もっと邪悪だと思います。それで神は、彼らを救われました。ヨナが怒るのも無理はありません。ヨナは岸に上陸したとき、彼は希望すら示しませんよ。良い知らせはありません。

「神は、お前たちを焼き尽くされる。待ちきれないね。40日後、あの高台の最前列席で見物してやる。じゃあな。」(ヨナ記3章参照)

すると彼らは悔い改めました。で、ヨナは、「は～??」「神よ、あなたは、あなたは彼らを救われるのですか?」「そうだ。だからあなたを遣わしました。」だからヨナは、神の御顔を避けたのですよ。ヨナは行きたくなかった。こんにち、ハマスに福音を伝えるためにガザ地区へ行きたい人は？ その伝道旅行に申し込みますか？ まあ、そうだろうと思いました。よろしい。それでは、少なくとも、あなたは正直です。えっと、先週私は、ディーン・マンガンさんとメールのやり取りをしました。彼女とご主人のマット

は、実は、ご夫婦が本土へ引っ越す前は、この教会設立当初から一緒でした。彼らは大切な友人で、私たちの素晴らしい文字起こし・翻訳チームの一人です。彼女は先週のアップデートで、ジェフリー・ダーマーについて話した時に、彼女が言うところの”手早いクールな聖霊の働き”を感じたと私にメールを下さいました。アップデートではなく、「聖書の学び」でしたね。ジェフリー・ダーマーについて話したのは。ギアが固まりましたか？ いや失礼、ハードドライブがクラッシュしましたか？ ジェフリーは救われましたよ。

「嘘だ！神が、ジェフリー・ダーマーを彼が犯した悪事、言いようのない悪事後救われるなんて！！彼が何をしたのか知ってるの??」はい。でも彼は救われました。刑務所で。そして受刑者に福音を分かち合いました。それから殺害されました。今彼は、主の御前にいます。あなたはそれに大丈夫ですか？では、彼女が下さったメールです。「朝早く、シュガーランド聖書教会の日曜説教にチャンネルを合わせていたから、私は椅子から転げ落ちそうになりました。その青年牧師は、アンディ・ウッズ牧師の代役で、ヨナ書について説教し、ニネベがいかにかに邪悪であったかを説明していました。しかし神は、彼らを救われました。そして、彼は、ジェフリー・ダーマーの例を挙げ、神がどのように彼を救われたかを語りました。そして彼は、さらに近づいてハマスの話をしました。あなたたちは、メモを交換しましたか？ ー(笑)ーお二人を通して、神の御心を聞くのはとても素敵です。躊躇うことなく、本当にありがとう。主を褒めたたえます。マラナタ。」

そこで私は、次のようなメールを返信しました。私は口数の少ない男なんですよ。編集したものを言います。「おお、ディーン。ガブリエルがアンディの代役を務めるのなら、私はこれを完全に理解できるよ。あなた同様に、神がこのようなことをなさるのが大好きだよ。さらに興味深いのは、ちょうど私がヨナの点と点を結ぼうとしていたところ、しかし、聖霊は、私にそうさせないだろうと感じたのだよ。でも、神が、ニネベ/ハマス/ダーマーを救ったことに対するヨナの怒りの行動は、悲しいかな、こんにちのキリスト教の反応と不気味なほどよく似ているよ。」また、モサブ・ハッサン・ユセフという男にも点をつなげたかったです。この兄弟は、アラブの兄弟としてだけでなく、クリスチャンの兄弟としても実際に話をしたことがあります。この兄弟は、アラブの兄弟としてだけでなく、クリスチャンの兄弟としても実際に話をしたことがあります。彼は15年以上前に、イエス・キリストの過激で力強い救いを得ました。モサブは、ハマスの創設メンバーの一人、最も多弁な指導者シェク・ハッサン・ユセフの息子でした。その後、彼は『ハマスの息子』というタイトルの本を書きました。結局、セキュリティ上の理由から彼との連絡は途絶えましたが、ご想像の通り彼は水面下で活動していました。私は、彼が今も主への奉仕のため燃えていることを知っています。それは隠蔽されたままでなければなりません。しかし、神は。この兄弟を使って、ハマスにいる多くのアラブ人の兄弟たちにキリストを伝えようとしておられます。その大勢の人々がキリストのもとに辿り着いています。彼らに会うには、携挙のラッパが鳴るまで待たなければなりません。しかしその時、嬉しいサプライズが待っています。兄弟モサブについてもうひとつ、彼は大変な親イスラエルですよ。彼のそのとてつもない親イスラエルさは私を恥ずかしくさせるほどです。ええ、私は親イスラエルですけど、モサブは、親イスラエルです！！

画面は、2017年9月25日のUN Watch ウェブサイトのスクリーンショットで、タイトルは「国連崩落」です。ハマス幹部の息子、パレスチナ自治政府をパレスチナ人民の敵と呼ぶ。このスクリーンショットを選んだのは、スタッフ、オンラインのために、再度さっと出してくれますか？ ええ、リンクは貼っておきます。この特別な1枚この両脇の二人を見て下さい。イヤホンを持っている男性、彼は二度見してい

ます。「え？」その理由は、モサブの発言を聞いて下さい。引用します。これは文書版からで、リンクを貼っておきます。

ー引用ー

「私の名前はモサブ・ハッサン・ユセフです。ハマスのメンバーとしてラマッラで育ちました。私は、パレスチナ人の唯一の正当な代表者だと主張するパレスチナ自治政府に対して言いたい。あなたの正当性はどこから来るのですか？ パレスチナの人々は、あなたを選んだわけでも、彼らを代表するよう任命したわけでもない。あなたは自称だ。あなたの説明責任は、自分の国民に対してではない。これは、あなたが彼らの人権を完全に侵害していることから明らかだ。人々を。実際、パレスチナ人個人と彼らの人間的成長など、あなた方の関心事ではない。あなたはパレスチナ人学生をキャンパスから誘拐し、牢獄で拷問した。あなたは政敵を拷問する。パレスチナの人々の苦しみは、あなたの利己的な政治的関心の結果だ。あなたはパレスチナ人の最大の敵だ。イスラエルが存在しなければ、あなた方は誰も責めることはないだろう。」

それが、あの脇の男性が二度見する時です。「この人の言っている事聞いた??？」カメラに写っているし、あ〜非常に素晴らしいです。

ー引用継続ー

「あなたは権力の乱用を維持するため対立の炎をあおった。最後に、あなたはこのプラットフォームを使って、国際社会とパレスチナ社会を欺こうとしている。ありがとう。じゃあね。」

じゃあねは、言いませんでしたけど、それは真実爆弾と呼びます。それが真実です。では、私はもうひとつ、区別と区切りをつけなければなりません。さっとします。時計を見ないでください。それは私の責務だと思いますし、実際、これから述べるように、今後アップデートにつながるかもしれません。でも私たちは、土地と人々を区別する必要があるだけでなく、しかし、私たちは政府機関と人々を区別しなければなりません。なぜか？ 政府機関が、土地と人々を支配しているからです。これがこの後話すことで、わお！ライブ配信を終了するまで、かなりの時間がかかりましたね。じゃあね。もうウェブサイトで見て下さっていますように。ここでライブ配信を終了します。それから第二礼拝が始まれば、そのまま参加してくださいね。

ー本編ー

先週引用した兄弟のウェブサイトについてこう前置きしたいと思います。この後に続く内容を理解する上で、非常に重要だからです。2つの理由から、前置きします。

1つ目は、彼のウェブサイトへのリンクが欲しいと要望があったので、それを提供しました。この動画に添付する pdf.ファイル内です。また、私が彼の名前を言わない理由について尋ねている人たちのために言っておくと、彼の言葉を借りれば、彼が仰るには、「私への称賛は他の誰からでもなく、ただイエスからのものであってほしいから。」私はそれが好きです。だから彼が大好きなのです。では、なぜこれが私たちの理解にとって重要なのかという質問について、簡単に、そして手短かに言うと、彼はそれを本当に理解している数少ない一人だからです。どういう意味ですか？

彼は、全世界のグレートセット：主に政府的に、軍事的に、地政学的に、経済的に、そして通貨的に関して、神から識別力を与えられています。もしも、その上記のリセットの共通点が、過去も現在もひと言で言うと、コロナだとしたらどうしますか？ そして、それに続くいわゆるワクチン。いわゆるワクチンと

呼ぶには抵抗があるくらいです。ワクチンではなく、似ても似つきません。私が言える最善の言葉は、より良い言い方がないのですが、注射です。接種とも呼びたくありません。「あら、接種したよ。」これはDNAを傷つける毒の注射です。今のは、DNAはまだ変化しません。話してきましたね。患難時代にはそうなります。現行のは、DNAを傷つけるので、人々が亡くなっていっています。突然死。DNAを傷つけているからです。致命的です。DNAの異常が原因で、娘ノエルは亡くなりました。(DNAが)完全ではなかったからです。あまりの損傷に、医学界では娘は"生命と相容れない"と言われました。18番染色体の第三複製があったからです。娘のDNAは損傷していました。変化したわけではありません。損傷です。だから娘は、DNAが損傷して死んだのです。それが今、起こっています。ですから、いわゆるワクチンと呼んでいます。このワクチンと呼ぶものが本当は何なのか、その責任を回避するためだと思います。これは死の注射です。それがこの注射です。これこそが、最終的に全世界をつなぎ、全世界をリセットするものになります。このリセットされた世界は、7年間の患難時代で成就する時、聖書預言のページに記されている世界とまったく同じです。誰もそれについて語らないのですか？ スティーブ、私は説教壇を叩くべきかな？ これは、スティーブ・サントスの分。もし私が、地上の全ての政府、全ての国々がこのことに欺かれていると言い、その結果、これが故に欺かれてしまったと皆さんに言ったらどうですか？ なぜなら、結局は、欺かれた者は欺くからです。欺かれた者は欺く。言葉遊びじゃありません。黙示録18章23節、バビロン崩壊についての預言です。

一黙示録 18:23-

ともしびの光も、おまえのうちで、もはや決して輝くことはない。花婿と花嫁の声も、おまえのうち、もはや決して聞かれることはない。というのは、おまえの商人たちが地上で権力を握り、おまえの魔術(ファルマキア・医薬)によって"すべて"の国々の民が惑わされ、

これが最終的に全てをまとめるものです。終わりといえば、もうそろそろ終わり、締めくくります。幾人かは仰っていますね。「イエスを褒めたたえます。主よ、ありがとうございます。」2つの方法でそうします。

1つ目：先週話したように、新たなアップデートについて祈って下さい。これは私が取り組んできたもの、祈ってきたもので、これは、明らかに疑いなく、疑いなく、合理的な疑いではなく、疑う余地なく、これらの実体の邪悪さを証明する記録をまとめたものです。これらの実体は、生身の人間ではないことを知っておいて下さい。

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、霊的領域のもろもろのランクの悪霊に対するものです。(エペソ 6:12 参照)

それらが人間を惑わしています。どうか私のために祈ってくださいますか？ それに取り組んでいます。それについて祈っています。

2つ目：私のために祈るだけでなく、どうか私の話を最後まで聞いてほしいのです。もう締めくくりますので。謙虚にお願いしたいのは、あなた自身が聖書を調べ、自分自身でリサーチしてください。皆さんに謙虚にお願いしていいですか？ それをお願いする理由は、この終わりの時に、多くのクリスチャンの認知的不協和が蔓延し、顕著になっているのは、かつて見たこともなければ、これからも見ることはないでしょう。真実、証拠、文書、事実を提示されても、合理的な疑いを超えてではなく、どんな疑いをも超えて証明しても、認知的不協和が起こります。健全な教理を説いても否定する。これも終わりの日のしるしです。

では、最後のひとつ、これを言う時、意地悪を言うつもりはありませんが、人々が実際に聖典を調べるときを前提に、この質問をしています。まずは、(自分で)調べてください。悲しい事に、殆どの人が調べません。調べる数少ない人たちは、御霊が教会に語りかけていることを聞く耳を持っています。御霊が教会に語っているのが聞こえるのは、「私たちに、患難時代前携挙が、非常に迫っている事。」それが御霊が教会に語っておられる事です。聞く耳のある者のために。

「耳のある者は聞きなさい。」(マタイ 13:9 マルコ 4:9)

「聞け、イスラエルよ。」(申命記 6:4)

「御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。」(黙示録 2章3章)

OK。皆さんご存知なのを願います。皆さんの私への優しさに感謝します。私は未だかつて、何と言えれば良いか、、、こう言った方がいいですね。未だかつてありません。私の人生において、こんにち、私の中で燃えている緊急性を未だかつて感じたことはありません。私は何年もこれを続けてきました。こんにちのような切迫感を抱いたことはありません。神が私の証人であられる通り、神は私の心を知っておられます。すべての「聖書預言・アップデート」は、心をこめて説きます。なぜなら、これがラッパが鳴る前の最後の「聖書預言・アップデート」かもしれない、もう一度だけチャンスがある。だから、遠慮するつもりはありません。エレミヤは辞めようと思いました。問題はしもべは、辞められないことです。神は仰います。「わたしに辞意を表明しているのですか？」

エレミヤは言います。「辞めようと思ってもできません。主のことばが私の中で燃え盛るからです。」(エレミヤ 20:9 参照)

使徒パウロを考えます。

「キリストの愛が私を捕らえ、駆り立てます。」(II コリント 5:14 参照)

止める事が出来ません。せねばならないのです。私たちは、、、私だけではありません。私たちは今、人々をイエスのもとに、イエスを人々のもとに導かねばなりません。今、多少時間がある内に。収穫は、熟しています。収穫の準備は出来ています。

でも働き手が少ない。収穫の主、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。
(マタイ 9:37-38)

時間は限られているからです。麦作が盛んな小さな農村で育ちました。天候に恵まれれば、収穫のため学校を遅らせることもありました。そうしなければ、収穫を失うことになるからです。農作物を失います。それが収穫というものです。時間が勝負です。かろうじて窓が開いている今のうちにするしかありません。収穫せねばなりません。収穫を運ばねばなりません。手遅れになる前に、コンバインやトラックを運転し、人々のところへ行き、収穫せねばなりません。これが「福音/ゴスペル」と「救いのABC」で締めくくる理由です。さっとやります。皆さん知ってください。もう今や10ヵ国語で、出ています。

A: 自分が神に背いた罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

自分が罪びとだとへりくだらないと、救世主に興味を持ちません。

ローマ人への手紙 3章 10節、「義人(正しい者)はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3章 23節がその理由、

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

ローマ人への手紙 6章 23節、

判決段階に入ります。罰則があるからです。その罰則は、死の宣告です。

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

悪い知らせが先にあって、そして良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)

それが良い知らせ・ゴスペルです。「良い知らせだ。あなたの負債は、他の人が支払った。あなたは自由だ。」これが「福音」という言葉の意味です。次に B、非常に中心です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

なぜそんな中心なのか？ 心に溢れる事が口から出て来ます。(マタイ 15：18 参照)

心の中にあるものが口から出ます。では、あなたの心にある事は？ イエス。

B：あなたの心で、神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。

そうすれば、告白すると「イエス・キリストが主である」と口から出て

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

全ての舌が告白し、全ての膝が屈められる日が来ます。(ピリピ 2:11)

しかし、その時は、救いのためではなく、天罰のためです。心に溢れる事が口から出て告白すると、心で信じると、今は、救いのためです。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』(ローマ 10：13)

皆さん、ご忍耐感謝します。今日の「しかし、神は。」の証です。再び先週紹介したロニ・ラヴァンさんからです。今週も彼女をシェアする理由は、すぐに理解してもらえたいと思います。キリストにあるこの尊い姉妹は、私にこうメールをくれました。

「親愛なる JD 牧師、10/15 (日) の朝、あなたが私のメールを読んだのを聞いて、とても驚いています。この 4 年間、あなたに何度もメールしました。でも、もしかしたら私からのメールを見ていないかもしれないと思っていました。でもなんと、私は間違っていました。私はイスラエルに短期間住んでいました。私が受け取ったメールを紹介したいのです。恐怖と不安の中で、彼ら(ユダヤ人)はハマスの人々やハマスにいる人々が救われるように祈りました。これがあなたにとって祝福となることを願っています。イスラエルには、ユダヤ人だけでなく、アラブ人もたくさんいます。ほとんどの人はとてもオープンで、私は彼らに、彼らのために、イエスとその愛を分かち合うことができました。愛を込めて、ロニより」そのメールは、「イエスにある親愛なる兄弟姉妹の皆さん、イスラエルの惨状や混乱についてよく耳にしていると思います。今日の時点で、1300 人以上の同胞がテロ攻撃によって死亡し、3300 人以上が負傷しています。テルアビヴのこのミニストリーで、神が私たち全員を守り、助けて下さったことを知ってほしいのです。とても感謝しています。でも簡単なことではありませんでした。就寝中にロケットのサイレンが鳴り響き、防空壕の中で何日も生活しています。家族の中には、予備役から召集され兵役に就いている者もいます。イスラエルでは誰もが最前線で戦っている人を知っています。私たちは彼らのために祈り続けます。実際、イスラエル全土は今、これまで以上に私たちの祈りを必要としています。実際、私たちはかつてないほど突き進んでいます。今、私たちは、この戦争の真っ只中にある地元のイスラエル人信者と各国からの信者の集まりを率えています。私たちは祈り、礼拝し、イエスにある神の御言葉を驚くべき方法で心に満たしています。ガザのすぐ近くで私たちと共に住む、ある家族の証を皆さんに紹介します。

テロリストが町を埋め尽くし、容赦なく人々を殺しています。彼らは追い詰められ、何日も家の中に隠れ、祈り、神を信じました。ついに彼らは脱出し、北へ向かいました。私たちは皆、テロリストの救いのために祈り始めました。自分たちが経験してきたこととは裏腹に、彼らは敵への神の憐れみを求めました。ユダヤ人、アラブ人、あらゆる国の信者が共に慈悲を求めていることを知る必要があります。これがイエスの道です。最も暗い闇から光へ導く。消えることのない愛。今イスラエルは、福音/良い知らせの希望、光、愛をかつてないほど必要としています。これがここテルアビヴで私たちがしていることです。私たちは立ち止まりません。神が与えてくださった高い召しに向かって突き進むのです。私たちは宣べ伝え、祈り、励まし、そして最も小さい者たちに奉仕します。現在の状況が困難であると同様に、軍は、現実的に必要な最悪の事態はこれからだと言いました。私たちの物資配給センターは、これまでに見たこともない規模で重要な食糧と援助を提供するための資源を持たねばなりません。イスラエルのために祈っていただけませんか？ ニーズは非常に大きく、一瞬一瞬が問題で、私たちはそれに応える準備をせねばなりません。皆さんのサポートと祈りに心から感謝します。主が皆さんを、イエスの御名によって祝福下さいますように。」

冒頭で述べたように、私はロニと連絡を取り合い、マウイ島と同様、教会としてイスラエルの人々、ユダヤ人・アラブ人の両方をこの時期に支援する方法について、彼女と一緒に考えています。皆さんもそのために祈ってほしいのです。OK。(カポノ、上がってきてください。) もうランチタイムですか？ —(笑) — ご起立ください。かなり長かったのは分かっています。そんなことしたことないのに。いえ、でももう一度、言わなければならなかったのです。

天のお父様。ありがとうございます。あなたの民の恵みと忍耐、彼らの(この礼拝への)長い苦しみをあなたに感謝します。主よ、ニネベ人を救ってくださったことを感謝します。あなたはアラブ人を救い、ユダヤ人を救われます。あなたは人々を救われます。そのために、あなたは来られました。

主よ、私たちがあなたの心を持ち、どちらかを選ばなければならないという押しつぶされそうな圧力を拒むことができますように。私たちは、特定のどちらかの味方になりたいとは思いません。私たちはあなたの側でありたいのです。あなたの御心の中にいたいのです。誰も滅びることがないようにが、あなたの御心だと私たちは知っています。ですから、どうか主よ、今まであなたがなされた通り、常にご忠実であられる通り、今起こっていることがなければ、救われることはなかったであろう多くの人々を救いに導くため、今もこのことを用いてください。ですから主よ、そうなりますように。

最後に、イエスよ。どうか、マラナタ。早く来ててください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7